

2024年(令和6年)4月1日

会員各位

第 212 回  
**Klub Zukunft 月例会**  
- 歴史・文化に親しむ会 -

陽春の候、会員の皆様には如何お過ごしでしょうか?各地で桜の花の便りが聞こえてくる季節となりましたが、まだ余寒の残る日もあり体調管理が難しい時期ですがお元気でしょうか。

さて、4 月月例会は、溝井裕一先生による『動物王ハーゲンベックの「ロスト・ワールド」-巨大恐竜・ドイツ帝国に出現す』と題してお話をいただきます。カール・ハーゲンベック(1844~1903)は、19世紀~第1次世界大戦直前まで、世界に冠たる動物商として活躍し、ツェッペリンに匹敵する有名人でした。ヨーロッパはもちろん、日本やアメリカの動物園が、彼から珍しい生きものを購入しておりました。そんな彼は、ハンブルク近郊に画期的な動物園を作ったことでも知られていますが、実は古生物にも並々ならぬ関心を寄せていました。そして、アフリカにいと噂される恐竜を探す一方で、動物園内に実物大の巨大恐竜模型を作らせてしまいます。制作したのは、ヨーゼフ・パレンベルクという、凄腕の彫刻師でした。

今回の講演では、彼らが展示した恐竜はもちろん、当時の古生物学とドイツ帝国主義の関係など、文化的背景についても紹介していただきます。

溝井祐一先生は、現在 関西大学文学部の教授として、ドイツ文学に関する研究をされており、2018年に出版された『水族館の文化史』でサントリー学芸賞を受賞されています。

今回はジェラシック・パークの世界に皆様をご案内したいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。また、皆さまのお友達にも参加の働きかけをしていただき、一緒にご出席いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

◆ 日時: 2024年4月24日(水曜日) 15:30~17:30

◆ 場所: 大阪公立大学 文化交流センター  
大阪市北区梅田 1-2-2-600  
大阪駅前第2ビル 6階

◆ テーマ: 動物王ハーゲンベックの「ロストワールド」  
- 巨大恐竜・ドイツ帝国に出現す -

◆ 講師: 溝井 裕一 (みぞい ゆういち)様  
(関西大学 文学部教授)  
専門はドイツ文学。

◆ 参加料: 正会員; 500円  
賛助会員 & 一般; 1,000円

◆ 月例会への参加は、下記メールアドレス宛に、  
お名前と月例会と懇親会それぞれの出欠をメールにてお知らせください。

[klub.zukunft@gmail.com](mailto:klub.zukunft@gmail.com)



以上